

⑩ 明曆とまでは読まれて苔の花	草秋	灯うつりのよき人の頬や更衣 <small>ころもがえ</small>	桃郎
池の端七軒町 田野氏		杉並阿佐谷町 大倉氏	
振れは動く枕時計や秋の嶮	浮舟	何處までの拾ひ草履や花の雨	桜舟
王子岩淵 濱野氏		浅草公園三社 大畑氏	
女には負る星なる粽 <small>ちまき</small> かな	一色	困 初花に古臭きもの障子かな	山曉
小石川西江戸川 水野氏		豊島駒込町 閑月庵氏	
時のもの着ての乞食や秋の廓	御舟	蟻と蟻何か礼儀のありけなり	兔若
牛込水道町 林氏		千住仲町 富雪庵氏	
南瓜 <small>かぼちゃ</small> 煮て只の女となりにけり	牛六	秋晴に鶴放たんと思ひけり	素宏
深川清澄町 山鹿氏		深川福住町 大林氏	
困 樽柿に爪で弾きたく思ひけり	一杉	山蔭に里あり風の唸 <small>うな</small> る音	烏孫
滝の川田端 野中氏		深川富岡町 小倉氏	
奉公に行く誰れかれやばい廻し	万太郎	うら枯や小梅辺りを背負呉服	登々矢
荒川日暮里町 久保田氏		千住五丁目 福本氏	
燭台の脚かあふない桔梗哉	有平	⑩ 魚屋の美男と生れ祭り哉	圭美
関口水道町 齋藤氏		本所平川橋 川俣氏	
餅搗 <small>もちつき</small> や茜 <small>あかね</small> の中の草の家	一鶯	逆まに吊る自転車や秋燕	雁々
麻布森元町 鈴木氏		四谷新宿二丁目 青山氏	
魚屋か売る奈良漬や花くもり	縹舟	足袋の甲馳 <small>こはせ</small> 一とつか堅し八重桜	白水
小石川茗荷谷 西村氏		本所緑町 酒井氏	
⑩ 姫はしめ済みたる妹か寝顔哉	迂外	夏の匂ひとマトは皿に切られけり	早花
淀橋戸塚町 小泉氏		淀橋新町市場 橋本氏	
近松忌人の女房に傘さして	水光	夜桜やつひ朝さくら明の鐘	蝶二
浅草三間町 時雨庵氏		牛込薬王寺 中内氏	
六尺の草に入る日や赤とんぼ	泉古	困 子規か住み抱一か住み啼篋子	大圭
千住二丁目 養藤庵氏		本所豎川 加藤氏	